

もっと知りたい “ごみ”のこと

ごみへの疑問を解消し、皆さんに少しでも取り組んでもらいたい減量のトピックス。
今回は、市民の皆さんの疑問などにお答えします。これを読んで、さらに減量に取り組み
ましょう。

川本 雅之 瀬戸市長

9月からごみ・資源物の出し方が大きく変わります。
そして、ここからが本格的にごみ減量に取り組むスタートです。
市民の皆さまと一丸となって、さらなるごみ減量施策の推進に努めてまいります
ので、ご理解とご協力をお願いします。



ごみのQ&A

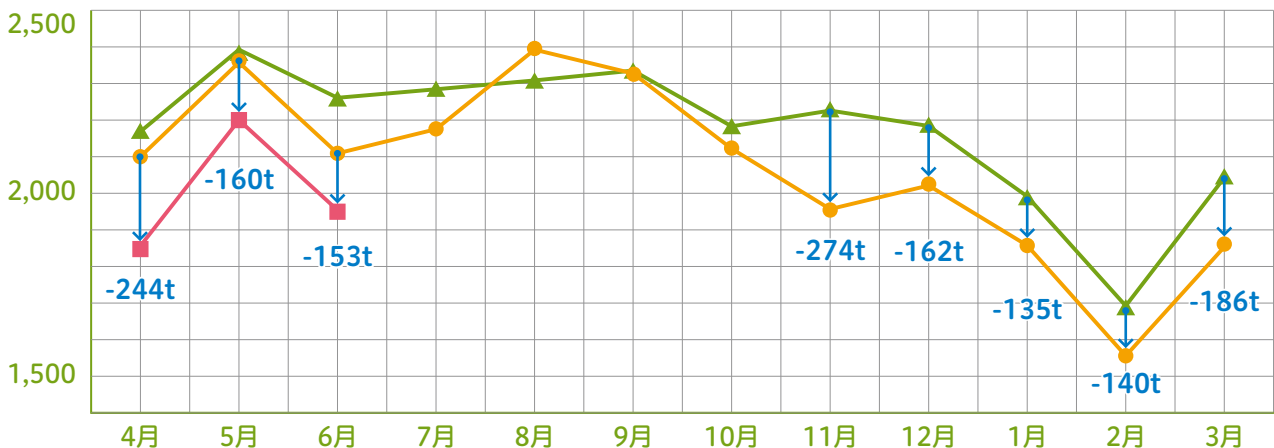
Q1:ごみの減量は進んでいるの?

A1.令和4年度は皆さんのご協力で燃えるごみの減量と資源化が進みました。

令和4年度 実績

- ・燃えるごみの収集量:令和3年度に比べ1,256t減量(4.8%減)
- ・昨年10月からのプラスチック製容器包装の分別:6か月で322tを収集

燃えるごみ(家庭系)の収集実績(単位:トン)

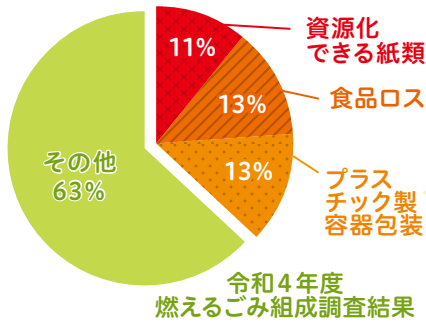


- ▲ … 令和3年度
- … 令和4年度
- … 令和5年度

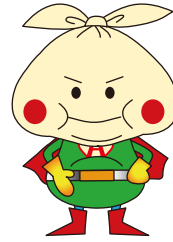
プラスチック製容器包装やミックスペーパーの
分別で、燃えるごみは着実に減ってきているね。



しかし、燃えるごみの中身を調査すると、まだまだ資源化・減量できるごみが含まれています。



なんと全体の
3分の1以上も
資源化・減量できる
ものが混入
しています！

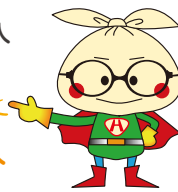


特に、プラスチック製容器包装は、ビン・缶・ペットボトルなどに比べて、資源として出される割合がまだまだ低いんだ。

そして、令和5年度の目標値達成のためには、一人ひとりが少しの努力や工夫をすることが大切です。



家庭系1人1日あたりのごみ排出量(資源物は除く)



1人1日40g
(小さめの卵1個分)
を減らすと目標達成。
市民全員が毎日
40g減らすのが目標だよ。

詳しい分別方法は
ホームページで紹介
しています。



家庭ごみ・資源物の
のし方



Q2: プラスチック製容器包装は収集された後にちゃんとリサイクルされているの？



A2.きちんとリサイクルされています。

収集されたプラスチック製容器包装は、中間処理施設へ運搬され、異物などを取り除いた後に、リサイクル業者へ引き渡され、約90%がプラスチックの材料などに再生利用されています。

以前は燃えるごみとなっていました。現在は大切な資源としてリサイクルされています。

収集からリサイクルまでの流れ

収集されたプラスチック製容器包装はどのようにしてリサイクルされるのでしょうか。



家庭から出たプラスチック製容器包装は、リサイクル工場に集められます。

リサイクル工場

01 破袋(はたい)



収集したプラを袋ごと投入します。

破袋機

専用の機械で袋を破きます。このため、袋の中にさらに袋を入れることはしないでください。

02 手選別



ベルトコンベアを昇った先でプラを圧縮します。

人の手で金属や紙などの異物を取り除きます。事故やけがの原因になるので発火性危険物や針などは絶対に入れないでください。

03 圧縮梱包

1つで1トン



圧縮梱包品(ボール)

輸送効率を高めるため、圧縮梱包し、圧縮梱包品(ボール)を作ります。

04 出荷



圧縮梱包品をリサイクル業者へ出荷します。

「リサイクルのゆくえ」をホームページでお知らせしています。▶



いかがでしたか。疑問点が解消したら、次は早速具体的にごみ減量に取り組んでみましょう。題して「ごみ減量・資源化大作戦 いますぐにできる取り組み」

ごみ減量・資源化大作戦 スタート

“いますぐにできる取り組み”

ごみ減量と資源化を促進するため、9月1日(金)から「ごみ処理費用の有料化」が始まりました。今回は、皆さんが手軽に始められることを2つお伝えしますので、ぜひ取り組んでみてください。

NO.1 生ごみの水切り作戦 ～約70%を占める水分をカット～

1. 野菜は洗う前に皮をむこう
2. 乾燥させて水分をとばそう
3. 水切りネットで水切りをしよう
4. 力いっぱい絞ったら作戦成功



新聞紙などで作った紙の箱に入れて乾燥させよう。

虫には要注意



両手を使ってギュッと絞ろう。

NO.2 ミックスペーパー紙袋作戦 ～紙類はすべてリサイクルへ～

1. ごみ箱の横に紙袋を用意
2. 紙マークがあるものはどんどん入れる
3. 袋がいっぱいになったら縛って出す
4. ごみ箱に紙類が入っていないければ作戦成功



椅子に袋を掛ける方法もあります。家にあるどんな紙袋でも使用できます。

★ごみの出し方、分別が分かれると資源化・減量も簡単!

ごみ分別辞書で確認を

毎年、発行を行わないため、年度替わりの際も破棄せず、各家庭で大切に保管してください。なお、「ごみ・資源物の出し方」はごみ分別辞書の発行に伴い、今後は発行しない予定です。



ごみ減量活動奨励金

☎ 資源リサイクルセンター ☎ 21・3196

ID 1351

対象 非営利市民団体

補助要件 令和5年3月1日以降に自主・業者回収で、1トン以上回収

対象品目 紙類、古布、缶類

交付額 自主6円、業者4円(ノ/Kg) ※上限20万円

申請方法 郵送 ※申請用紙はホームページから

送付先 〒489-0806

東吉田町2-1 資源リサイクルセンター

申請期間 10月1日(日)～15日(日)必着



環境課からのお知らせ

新しいごみ出しに関するコールセンター ☎ 88・2953

期間 9月29日(金)まで

時間 午前8時30分～午後5時15分 ※月～金(祝日不可)

お答えする
内容

- ・ごみの出し方がわからない
- ・旧ごみ袋の活用について
- ・指定ごみ袋の取扱店を知りたい など

ごみ袋が変わりました



新しい指定袋

燃えるごみ・燃えないごみは、必ず新しい指定袋で出してください。